

今月の「未来へつなぐ」では、復興ボランティアセンターが運用する ENTRANCE での催し事についてご紹介いただいています。

## 町民主催で「赤ちゃんカフェ」実施。 地域一丸となってママをサポート。

11月9日(月)、町民の方が ENTRANCE を使って、町内で乳児の子育てをしているお母さんを対象に「赤ちゃんカフェ」開催しました。「1人で子育てをしているとどうしても息が詰まってしまう。なので、地域の方々に一時的に面倒を見てもらい、お母さんにゆっくりする機会を作ってあげたい。」との思いから、開催していただきました。当日は初回ということもあって、町の保健師さんも様子を見に来ていました。今回実際に来てくださったお母さんからは「こういう機会があって本当に助かります！またやって欲しいです。」との声も上がっていました。



赤ちゃんを見守る地域の方々

「赤ちゃんカフェ」は今後もコロナウイルスの様子を見ながら、定期的に ENTRANCE で開催していく予定です。

## ENTRANCE オープン1周年！ 150杯のラーメンで来場者の笑顔を生む。

11月16日(月)に、開業1周年を迎えた復興ボラセンが運営するコミュニティスペース「ENTRANCE」。16日が月曜日ということもあり、その前の14日(土)、15日(日)で1周年記念イベントを開催しました。

今回は ENTRANCE の料理長でもある復興ボラセンメンバーの吉田圭介さんが中心となってイベントを企画し、開催しました。昨年のオープニングイベント、そして今年の2月に開催した「ラーメンの日」に吉田さんのラーメンを提供。



子どもたちも大勢食べに来てくれました。

そのあまりの美味しさに多くのお客さんから、「本当に美味しい。お店出せばいいのに。」「またやってくださいね！楽しみにしています！」という声をいただきました。1周年を迎えるにあたり、「1年やってこられたのも町民の方々のおかげ。これまでの恩返しとこれからもよろしくお願いします、の意味を込めてラーメンを振る舞わせてほしい。」という要望を吉田さんから受け、今回のイベント開催に至りました。しかし、北海道で新型コロナウイルスの感染者数が増えてきている中で、開催を延期するか、中止するかの議論を何度も重ねました。

結果的に、換気を常に行う、来場者の消毒・検温・名簿記入・マスク着用の徹底、マスク入れの配布、テーブルについたてを設置する、テーブルと椅子を使用後にすべて消毒する、距離を取って食事する、などの対策を行うこととして、開催に踏み切りました。

イベント当日は2日間で“150杯”ものラーメンを提供することができました。中には2日間で3種類すべてのラーメンを食べられた方もいたほど。「この味を待っていたよ。」「開催してくれてありがとう。」「美味しかった！」の言葉と笑顔をたくさんいただき、本当に嬉しく思いました。

皆様のおかげで ENTRANCE は1周年を迎えました！今後ともどうぞよろしくお願いします。

記事提供  
編集・校正

安平町復興ボランティアセンター  
安平町役場総務課情報グループ



(一社) 安平町復興ボランティアセンター  
TEL : 070-3139-0374  
MAIL : abira.fukkouborasen@gmail.com



ENTRANCE から  
ワクワクする情報お届け中！